

# 秋葉山しんぶん 第2号



第2回・第3回検討委員会のご報告と、来年の催し物のご案内！

平成23年1月 発行：NPO 赤目の里山を育てる会 <http://akame-satoyama.org/>

## 委員会にて、活発な議論がおこなわれています

第2回(11月)、第3回(12月)が開催されました。委員と地元参加者との間で議論された内容をご紹介します。

### 第2回検討委員会(11月26日)

#### 【議題】

秋葉信仰と秋葉山について  
白山・秋葉神社の祭礼について  
獅子舞の復興について(黒田の獅子舞の調査)  
秋葉山の参道・山頂の整備方針について  
秋葉神社鎮火祭に併せたイベント等について

地元の方、専門家の皆さんで、以下のような討議が交わされました。

- ・全国の秋葉信仰の起源と名張への伝播ルートなど
- ・白山神社の本祭り、特に珍しい頭上運搬について
- ・黒田の獅子舞の様子と、上三谷での復興の可能性
- ・秋葉山頂と参道の整備の方向性と今後の取組について
- ・鎮火祭(1/16)での獅子舞の実演について など

### 第3回検討委員会(12月20日)

#### 【議題】

秋葉本宮周辺地域(浜松市天竜区)における  
中世城郭や神社の地域活性化事例の報告  
秋葉神社鎮火祭に併せたイベントについて  
2/5の研究発表フォーラム(錦生小学校)の内容

前回に引き続き、委員の皆さんで熱心な議論が交わされました。

今回、委員以外の地元の方が参加され、以下のようなお話をいただきました。

- ・「秋葉しんぶん」でこの活動を知った。
- ・個人的には、これはいい話だと感じているが、協力する三谷の体制が取れていないようで残念だ。
- ・今回、開催案内を見て「誰が行ってもいい会議だ」と思い、今日話を聞かせてもらおうと参加した。一緒にできたらよいのにと、すごく思う。

これに対して、事務局からは以下のような説明をさせていただきます。

- ・この取組は自分たちのためにしているというつも

りはない。神社、獅子舞にこだわらないで、地元の人たちに喜んでもらえるような関係づくりをしていきたい。

- ・我々は事業の成果を、地元の人と一緒に地域のために活かし、活性化につなげたいと思っている。文化庁の採択も、それを期待してのこと。

これらの話を受け、委員の方々からも以下のような意見が出され、議論が盛り上がりました。

- ・全てを昔のように復活させることはできない。ただ、語り部の話を記録し、上三谷の歴史を伝えていくことは大事なことだと思う。獅子舞も50年も途絶えていて、今が最後のチャンス。門外の協力を得ても、残せるものは残していけないか。
- ・地域の魅力や誇りを感じることが、伝統文化を守りたいと思う気持ちにつながると思う。それが伝われば成功ではないか。

出席した地元の方から、忌憚のないご意見をいただき、会は大いに盛り上がりました！今後の活動に活かしていきたいと思います。



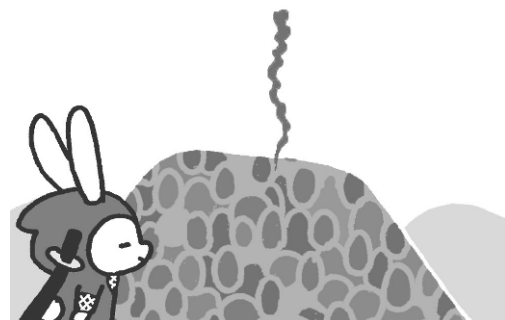
## 【コラム3：名張の昔話 「忍者の見張台」】

『忍者が住んでいた竜口は、山々に囲まれているもんで、外敵から身を守るのに絶好の土地であったんや。村の外側には、城山と竜王山と秋葉山の三つの高い山があつてな。それらの山から外を見張ることが出来たんや。そして、いざというときは、その山からのろしを上げて、村に連絡したんや。』

天正伊賀の乱のときに、織田の大軍が竜口に攻めてきたのやが、かねてから忍者がこの三つの山に登って見張っていたんや。そのとき、敵が大和川から攻めてきたので、それを発見した城山の忍者は、のろしを上げたんや。

それを見た竜王山と秋葉山の見張りの人もすかさず、隣の村の長坂村や上三谷に合図ののろしを上げたんや。

一つの山から上げたのろしが、次から次へと見張台に伝わり、それが遠くにまで連絡できるようにしてあつたんや。…略…』



## 来年の催し物のお知らせ

### 秋葉神社の鎮火祭で、獅子舞を実演します！

NPO赤目の里山を育てる会の会員・宇賀神さん(名古屋在住)を中心としたメンバーが、上三谷の獅子舞の復活に挑戦しています！地域によって踊り方が微妙に異なる名張の獅子神楽。まずは、黒田区の獅子神楽保存会のご協力を得て、黒田流の獅子神楽を基本に勉強中！1月16日の鎮火祭に併せ、参道入口付近の道路脇にテントを張り、その成果を御披露目します。

かつて上三谷でも鳴り響いていた懐かしい太鼓の音を目印に、獅子舞見物にお立ち寄りください！！

日時：2011年1月16日(日)秋葉神社鎮火祭

獅子舞は以下のスケジュールで、一回につき約10分の実演をおこなう予定です。

10:30～

11:30～

12:30～

13:30～

展示は常時おこなっています！

場所：秋葉神社参道入り口



### 今年度の活動報告のフォーラムを2月5日 錦生小学校で開催する予定です！

上三谷地区のお祭りや名張の獅子神楽などの貴重な伝統文化について、みなさまのご協力を得てこれまで調べてきたことをご報告します！

また、名張こども能楽囃子教室による、お囃子の演奏や、黒田獅子神楽保存会と赤目を育てる会若手メンバー宇賀神さんによる獅子舞の実演などをおこないます！

日時：2011年2月5日(土) 14:00～16:45

内容：講演会、市姉妹・お囃子コンサート など

場所：錦生小学校(予定)

## 事務局からのお知らせ～今後のスケジュール

第3回  
検討委員会  
12/20開催  
討議内容は  
表面参照

獅子舞実演  
(鎮火祭当日)  
1/16  
鎮火祭に併せ、  
獅子舞を実演

フォーラム  
開催(錦生小)  
2/5  
講演会、伝統芸  
能コンサート

今年度成果  
とりまとめ  
3/末  
報告書作成、次  
年度事業確定

旧年中は大変お世話になりました。新年もよろしくお願



事務局では、皆様からの問い合わせにお答えしております。関係資料や詳細な情報が必要な方は、随時お問い合わせください(tel:0595-64-0051 鶴田まで)。

## 【コラム4：名張の昔話 「秋葉さん」】

「上三谷と竜口との間に秋葉さんという山が高くそびえているんです。この山に古くから秋葉神社がまつられておりましてな。毎年一月十二日(今では十五日)には、伊賀や大和、それに伊勢方面からも、わらじばきでお参りする人々でいっぱいだったんです。登り道にのぼりの旗なんか立てて、それはそれはにぎやかやったんですのや。女の子らは、屋台でおはじきを買ってもらうのが楽しみでしたんや。...略...

秋葉さんの山に昔、遠州(静岡県の西部)からやって来た秋葉坊主という悪い坊主がおりましてな。この秋葉坊主が、秋葉さんの宝物を全部売り払って、酒に替えて飲んでしまったのですのや。」



コラム3・4は、忍者研究家の池田裕(いけだひろし)さん(秋葉山しんぶん号外参照)に紹介していただいた本からの抜粋です！

『続名張りの昔話』  
昭和59年4月21日発行  
三重県立名張高等学校郷土研究部編集

## 【コラム5：名張の獅子神楽】

名張市内には30余りの獅子舞が保存されており、これらは伊賀一宮・敢国神社系統のものといわれています。

古くは、敢国神社の専門獅子舞集団が名張市内まで来ており、その敢国神社の獅子舞を名張市の人々が習い、それらが地域独自の獅子舞へと発展していったそうです。そのため、演目はほぼ同じでも、舞の仕草や太鼓の叩き方、使用する楽器、衣装などが微妙に異なります。

### <獅子神楽の演目>

千代神楽	天狗
清神楽	獅子踊り
刀	荒獅子
五段	



全ての演目を全て舞うと約2時間30分を要します。大きな獅子頭を長時間かついで激しく舞う獅子の姿は圧巻です。

事務局では、皆様からの問い合わせにお答えしております。関係資料や詳細な情報が必要な方は、随時お問い合わせください(tel:0595-64-0051 鶴田まで)。